

## ティーチング・ステートメント

所 属 工学部情報工学科

名 前 松崎 博季

作成日 2024年2月26日

【責任】 工学部情報工学科に所属し情報工学に関する科目の教育・研究活動を行っている。主たる教育活動は情報工学実験Ⅰ（基礎電気・電子回路実験）、情報メディア処理（音声メディア）、Web デザイン、Web システムプログラミング（Java と RDBMS）、コンピュータネットワーク演習、卒業研究、ゼミ生の研究と就職活動支援、軽音部およびライフル射撃部の顧問である。

### 【理念】

「社会人として活躍することのできる学生を育成する」が理念である。具体的には、専門的知識や技術を身につけると同時に、主体性、課題発見力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律生などの社会人基礎力を備えることができるように支援する教育を行う。このような理念を掲げたのは、働く上で専門的知識が求められるのはもちろん、それ以上に実行するのが大変な事に怯まず挑戦できる行動力や実行力、仕事を円滑に行う上で必要なコミュニケーション力を社会から求められているからである。学生が上記のような知識や能力を得るためには、正課活動はもちろん課外活動も含めた学生生活の中で様々な事に取り組んだり、経験したりする必要があると考える。人の関わり合いを持ち楽しく充実感を感じる学生生活を送りながらも困難な事に果敢に挑戦し自ら成長した事が実感できる場の提供を行いたい。

【方針・方法】 情報工学関連の新しい技術や知見を授業の中に取り入れ、学生が授業に集中でき、学生が自らやり遂げた事を実感できる内容を授業に取り入れると同時に、学生が躊躇する事なく教員に報告・連絡・相談できる場を設ける事を方針に教育を行う。

- 情報工学関連の新しい技術や知見を授業の中に取り入れる。
  - 情報工学分野においては、先日まで授業で教えていた内容が古くなったり他の技術に置き換えられて使われなくなったりしている事がある。基礎技術や知識を大切にしながらも、常に情報収集に努め、今の時代に教えることを自ら勉強し把握した上で、授業に反映する。
  - 授業参観などに参加するなどして、良いと思われる内容を授業に反映する。
- 学生が集中できる授業を行う。
  - PC を使用した授業では、PC で他の事ができてしまうため、学生が授業とは関係ない事を行うなど、集中しない事が起こりうる。そこで、学生に提供する電子資料のキーとなる文言を空欄状態にし、学生は授業中に教員から提示される資料を閲覧しながらその空欄場所に穴埋めを行わなければならないようにする。穴埋めを終了した資料を授業中または授業終了後すぐに提出しなければならないようにし、かつ評価の対象にして、授業に集中しなければならない環境を設ける
  - 授業の提示資料に画像や動画はもちろん、音声やアニメーション効果も加えるなどして、興味を惹きつけるようにする。
- 学生が自らやり遂げた事を実感できる内容を授業や卒業研究に取り入れる。
  - 毎回の授業開始時に小テストを行い、終了後、または次回授業にフィードバックを行う。学生の解答状況を確認し、授業の進行状況や難易度の調整を行う。
  - やり遂げた感を醸成するため、授業で説明していない、あるいは問題を解くために自分で調べなければならないような、やや高度ではあるが、自力で解ける課題を課す。
  - 授業改善アンケートだけではなく、毎回の授業に対する感想を取得する。

- 企業や学外研究者と共同研究を行う。
- 学生が躊躇する事なく教員に報告・連絡・相談できる場を設ける事を方針に教育を行う。
  - 学生ファーストを心がける。
  - 丁寧な言葉を使い、笑顔で接するようにする。
  - 社会人としてのマナーやルールを守ることの大切さを説き、また知ってもらうために、自ら時間厳守などを徹底する。
  - 学生の都合の良い方法で連絡できるように、電子メールや Microsoft Teams のチャットなど複数の連絡手段を用意する。
  - ゼミ活動において、ゼミ生全員が集合できる時間を設け、コミュニケーションを取りながらゼミ活動や情報共有できる場を設ける。
  - 低学年時の PF 面談などにおいて、就職活動の実情や、企業がどのような人材を求めているのか、より良い就職のためには学生生活をどのように送るべきかを伝える。
  - 学生の就職活動に対する意識向上のため、OB/OG など社会人をゼミに招く機会を設ける。

#### 【成果・評価】

- 授業資料に工夫を加えた授業では、授業改善アンケートで「満足した」との回答が9割を超え、自由記述欄には「楽しかった」「ストレスの無い授業だった」「授業を受ける前はそれほど興味がなかったが興味を持つことができた」などの好評価の感想のみが記述されていた。
- 就職指導を期待してゼミ配属を希望する学生が多い。ゼミ生が就職結果に満足している（学生の報告と感想、卒業後の OB/OG との繋がり）。
- 学生と行なっている研究が新聞やテレビなどで紹介された。

#### 【目標】

- 全ての科目において、学生がストレス無く学べる授業実施ならびに授業資料作成。
- 学生が満足しつつ、これまでハードルが高かった企業への就職。
- 企業、OB 含む学外関係者協力による研究（車両とエゾシカの衝突回避用スピーカー）の実用化を目指す。また、企業との連携研究で成果を出す。